謹賀新年　平成28年元旦

日大通教 校友会報

発行所
日本大学通信教育部校友会
〒102-8005
東京都千代田区九段南4-8-28
TEL・FAX 03（3234）5858
発行責任者　白戸　忠志
編集責任者　師田袈裟茂

新年のご挨拶

日本大学通信教育部校友会
会長　白戸　忠志

新年明けましておめでとうございます。

全国校友の皆様に、心から新年のご挨拶を申し上げます。

この一年、校友会に対し、皆様からのご支援・ご厚情に感謝申し上げます。

昨年は集中豪雨による河川の氾濫、竜巻や噴火など、天災に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

昭和47年5月に発足した私たちの校友会は今年で44年になりました。

通信教育課程で学ばれ、それぞれの学部学科を専攻し卒業された昨年の9月卒業生115名をお迎えし通信教育部校友会の正会員は33,720名となりました。

通信教育部校友会では、日本大学の通信教育課程で学び卒業すれば、通信教育部校友会の正会員となります。（会則第6条の1）

また、専攻された学部の卒業生でもあります。各学部にはそれぞれ校友会があり、会員相互の親睦・向上と大学の振興に寄与することを目的に活動しています。

この学部別校友会と同等に通信教育部校友会が活動できるのも44年前に通信教育部校友会設立にご尽力いただき、今日までの発展にご協力いただいた諸先輩のお力です。

この歴史ある通信教育部校友会をこれからも発展していかねばなりません。

新年にあたり今後の校友会の活動を考えて見たいと思います。少子高齢化はこれからも進みます。望めば大学での勉学は誰でも受けられる時代になっております。通信教育は老若男女を問わず全国で学べる学習方法です。校友会でも学生の増員にこれからも積極的に取組んでまいります。

また、大学に協力し、学生支援に取組み、卒業生が増えれば校友会の活性化にもつながると思っております。

これからの通信教育部の発展は支部の活性化が不可欠です。ブロック総会・支部総会の開催に補助をし、本部総会の出席には交通費、また会報発送にも補助費が予算に組まれております。支部発展に活用してください。

通信教育部校友会では特別表彰制度を今年度より実施することになりました。校友会の役員として活動され、満88歳（米寿）になられた方が対象です。詳しくは会報第87号（前号）で確認し、支部長は事務局まで推薦してください。ブロック総会又は本部総会で表彰状と記念品をお渡しいたします。

ブロック総会や支部総会に参加して校友会の活性は支部が中心であると改めて認識しました。少ない予算で支部の運営は難しいと思いますが、支部長を支援し支部発展にご協力下さい。また本部役員も積極的に推薦して下さい。

1月23日㈯に桜門会館で新年会が開催されます。大学教職員の方々・学生・他学部校友会役員の皆さんなど多くの方が参加される楽しい行事を計画、5月21日㈯は第45回定期総会を予定しております。校友の皆さん、ご参加下さい。

日本大学校友会本部では、平成31年の創立130周年に向けての記念事業を実施しております。詳細につきましては本部校友会誌「桜縁」や「日大新聞」などで確認して下さい。

通信教育部校友会にも記念事業について要請があります。校友の皆様のご協力をお願いいたします。

先輩方の築かれました通信教育部校友会が、益々発展するように役員一同今年も頑張ってまいります。

新年に当たり、校友皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、今までと同様ご理解とご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

子の曰く、苗にして秀でざる者あり。秀でて実らざる者あり。　論語

先生が言われた、「苗のまま穂を出さない人もいるねぇ。穂を出したままで実らない人もいるねぇ。（努力が第一だ）」

新年のご挨拶
「さらなる発展を目指して」

日本大学通信教育部
部長　福田　弥夫

日本大学通信教育部校友会の皆様に初春のお喜びを申し上げます。おかげさまで新装となった市ヶ谷新校舎は大変好評で、入学説明会には三崎町時代を大きく上回る参加者が集まっています。教育内容の充実に努めてきた成果であると同時に、学生街からオフィス街へと移転し、靖国通りという東京のメインストリートと面することの効果のひとつであろうと思います。

減少傾向の続いていた入学生数も増加に転じ、これまで展開してきた各種の改革が実を結ぼうとしております。しかし、これに安心することなく、教育内容をさらに充実させ、日本の大学通信教育におけるフロントランナーとしての役目を果たすことが重要であると考えております。

さて、平成28年は通信教育部にとってどのような年になるでしょうか。教学の面では、サテライトスクーリング完全実施の年となります。昨年10月には、東京のスクーリング会場と岐阜県大垣市の会場をインターネットで結び、サテライトスクーリングを初めて実施することができました。計画から実現まで3年かかりましたが、指導に当たった教員が十分に準備したこともあって、大垣で受講した学生にも大変好評でした。ICTの活用によって、東京と地方会場あるいは地方会場と地方会場を結んだサテライトスクーリングは試行の段階から完全に実施の段階に移行いたしました。これによって、スクーリング受講の機会が格段に増加することになります。

学生生活の点では、学友会との新たな協力体制を構築する年となります。通信教育部の学友会は、学びへの思いを一にした学生が集まり、各地方での学習会やスクーリングあるいは集夏祭などを通じて親睦を深め、孤独となりがちな通信教育受講生が、それぞれの目標に向けて互いに励まし合うという、大きな役割を果たしてきました。このような学友会活動でしたが、近年は地方の学友会が次々と活動を休止することとなってしまいました。学生数の減少による影響に加え、大学の支援体制や指導力の不足が原因であると反省しております。

ここで学友会活動の基本に立ち返り、地方レベルでの学友会を復活させるべく、サークルと同じレベルでの地方学友会の再結成を促進することといたしました。全国学友会はとりあえず活動を休止しますが、地方レベルからの活発化によって近い将来には再発足できるものと考えております。これまで学友会活動にご尽力いただいた皆様に心から敬意を表し、お礼申し上げますとともに、校友会の皆様の現役学生へのご指導とご支援をあらためてお願いする次第です。

本年4月には、日本大学創立130周年を記念して「危機管理学部」と「スポーツ科学部」が三軒茶屋においてスタートいたします。昨年9月の理事会において、私が「危機管理学部」の初代学部長として着任することとなりました。初代学部長という重大な責務に身の引き締まる思いです。通信教育部長としてのこれまでの活動が、田中理事長や大塚学長をはじめとする大学執行部の皆様によって評価された結果ではありますが、校友会の皆様のご理解とご支援がなければ、これまでの改革は進めることができなかったと考えております。これまでの校友会の皆様のお力添えに改めてお礼申し上げます。通信教育部校友会の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

丙申への期待

学校法人日本大学理事長
日本大学校友会会長
田中　英壽

通信教育部校友会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成二十七年は、どのような一年でしたでしょうか。日本大学にとっては創立一二六周年を迎えて卒業生総数が一一一万人を超えた年であり、創立一三〇周年記念事業が結果となってその姿を現した一年でもありました。

まず、四月に日本大学初となる日本大学藤沢小学校が開校し、七二名の一年生が期待に胸をふくらませて校門をくぐりました。東京ドーム十二個分の広大なキャンパスの一角に、最も若い日大人が誕生した瞬間です。児童の健やかな成長と小学校の発展にご期待ください。

また、記念事業の最大の柱であり掉尾を飾る危機管理学部とスポーツ科学部の開設が、文部科学省の認可を受けました。開校は今年四月、大学としては薬学部以来となる新学部で、これで一六学部となります。キャンパスはかつて農獣医学部があった三軒茶屋（世田谷区）です。

危機管理学部は社会的な要請を受け個人、組織、国家を脅かす多様な危機の実態を分析し、その防止策や対応策の立案に役立てる学問の体系化を図ります。また、スポーツ科学部は競技スポーツを総合的に教育・研究する学部で、世界レベルの選手や人間性豊かな指導者を養成することを目指しております。

両学部とも既に大きな注目を集めています。両学部にご期待ください。

さて、平成二十八年は丙申（ひのえさる）です。樹木の成長にたとえると、草木が十分に伸びその果実が熟していく時期という意味を持つそうです。寒い冬にじっと力を蓄えていたものが、春を迎えて花開く様に似ています。日本大学と通信教育部校友会会員の皆様にとりましても、成長とその成果がもたらされる一年であってほしいと願います。

本年も引き続き母校の発展に期待していただき、変わらぬ御支援を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げる次第です。

皆様とご家族にとりまして幸せな年となり、通信教育部校友会が更に発展されることを心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

《年末・年始の休業について》
通信教育部校友会事務局は12月28日㈪より1月8日㈮の間お休みいたします。よろしくお願いします。

ご卒業おめでとう

平成27年9月卒業生
【学部別卒業生数】

法学部		
	法律学科	11名
	政治経済学科	8名
文理学部		
	文学専攻（国文学）	4名
	文学専攻（英文学）	39名
	哲学専攻	9名
	史学専攻	2名
経済学部		
	経済学科	15名
商学部		
	商学科	27名
商業学科		計115名

【表彰を受けた方々】

■優等賞
文理学部　文学専攻（英文学）　メルヒェル幸会

■通信教育部長賞
商学部　商業学科　黒田　淳也

■校友会長賞
法学部　政治経済学科　樋口美智子

新年会のお知らせ

■開催日時■平成28年1月23日（土）
受付14:30～15:00 新年会15:00～18:00
■会　場■日本大学桜門会館4階（桜ホール）
■会　費■男性：7,000円■女性：6,000円
■新卒：4,000円■学生：2,000円
※会場はJR市ヶ谷駅徒歩1分の桜門会館です。
※参加は校友会事務局まで TEL・FAX 03(3234)5858